

平成29年1月26日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

旬な現場（災害時に活躍する機械 の見学会）を開催します

～昭和区松栄学区の区政協力委員、自主防災組織の方が
災害時に活躍する機械を見学します～

1 概要

中部技術事務所では、災害時等に活躍する様々な機械を保有しており、10名以上の団体であれば、旬な現場（※1）としてどなたでも通年で見学していただくことができます。

今回は、名古屋市昭和区松栄学区の区政協力委員及びホーム・ファイヤー・モニターズ・クラブ（昭和区独自の自主防災組織）の方を対象に、排水ポンプ車をはじめとした災害対策用機械の見学会を開催します。40名が参加する予定です。

※1 中部地方整備局では、社会資本の役割を知っていただくため、通常立ち入ることのできない工事現場やダムなどの施設を「旬な現場」として一般の皆さんに積極的に公開をしています。

中部技術事務所では、災害対策用機械を見学していただいております。

詳細については中部地方整備局HP 旬な現場をご案内します をご覧下さい。

http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/

2 内容等

日時：平成29年1月30日（月） 10時30分～11時30分

場所：中部技術事務所構内

内容：中部技術事務所保有している災害対策用機械の見学

<見学予定機械>

排水ポンプ車、照明車、衛星通信車、対策本部車、待機支援車、
無人化施工バックホウ、ラフテレーンクレーン、橋梁点検車、
投下型水位計

報道取材：見学会の全般において取材が可能です。

3 資料：添付資料

4 配布先：中部地方整備局 記者クラブ

5 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 金井 正輝 TEL:052-723-5701 (代表)

総務課長 三宅 由枝 FAX:052-723-5707

技術情報管理官 小村 伸次

6 その他：災害が発生もしくは防災体制時には見学会を中止します。中止の場合は、ご連絡しますので、取材を希望される方は事前に問合せ先までご連絡をお願いします。

旬な現場（災害時に活躍する機械の見学会）

開催場所 : 国土交通省 中部技術事務所
名古屋市東区大幸南1丁目1番15号

<スケジュール（予定）>

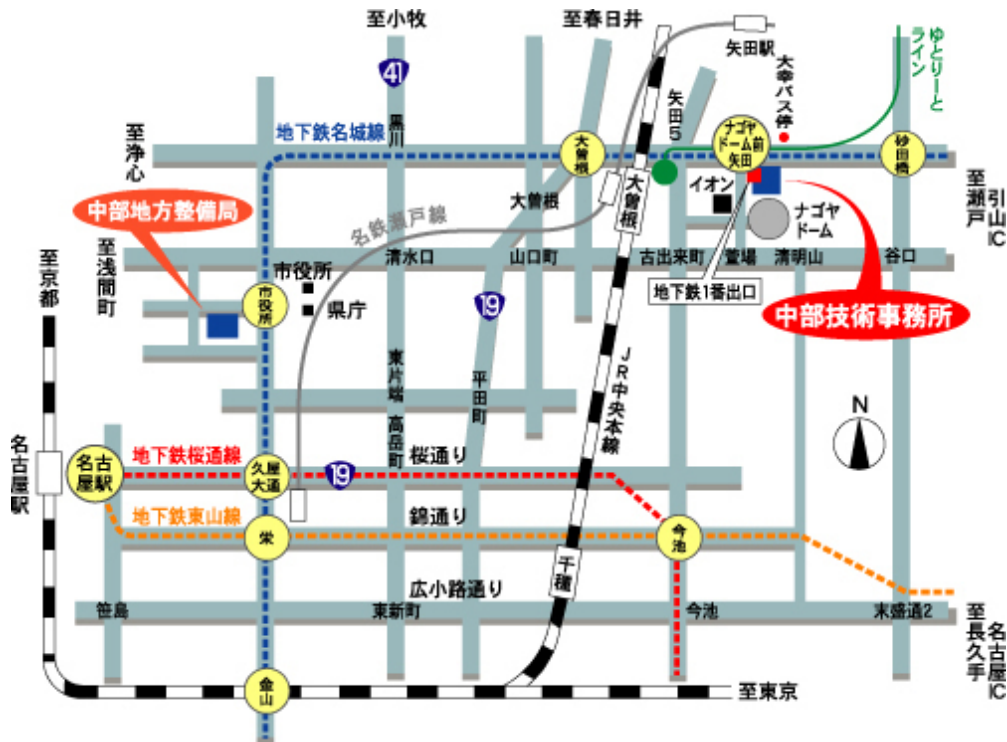
1. 開会挨拶 10:30～10:35 中部技術事務所構内

2. 災害対策用
機械見学 10:35～11:30 中部技術事務所構内

見学参加者は2班に分かれて、災害対策用機械を見学します。
照明車（20m）の操作体験を実施します。（1班2～3名程度）
無人化施工バックホウのデモを実施します。

旬な現場(災害時に活躍する機械の見学会)会場

■中部技術事務所案内図



地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車1番出口より徒歩1分
ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田駅」下車徒歩1分



〒461-0047 名古屋市東区大幸南一丁目1番15号
TEL:052-723-5701(代)／FAX:052-723-5707(代)

旬な現場（災害時に活躍する 機械の見学会）

添付資料

機 械 名	概 要
排水ポンプ車	浸水被害時に排水作業を行います
照明車	災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します
対策本部車	車体を拡幅して現地対策本部として利用します
待機支援車	災害現場で仮眠所・休憩所として利用します
無人化施工バックホウ	災害現場へ分解して空輸ができ、遠隔操縦が可能です
投下型水位計	衛星通信により土砂ダムの水位を遠隔監視します
衛星通信車	衛星を利用し、映像・音声などを送信します
ラフタレーンクレーン	資機材を吊り上げ移動します
橋梁点検車	道路上から橋の下部を点検します

橋梁点検車



点検状況

照明車



見学会で操作体験をする小学生

排水ポンプ車

訓練状況



H27関東・東北豪雨での排水作業

無人化施工バックホウ

遠隔操縦状況



H28熊本震災での作業状況

投下型水位計



衛星通信車



対策本部車



待機支援車



熊本地震での支援状況

ラフタレーンクレーン

